

1 次の計算をなさい。

(1) $5 - (-4)$ (2) $6 \div (-2)^2 \times 3$ (3) $7a - 2b - 2(a + 3b)$

(4) $3b \div \left(-\frac{1}{2}a\right)^2 \times a^3b$ (5) $-\sqrt{2} + \sqrt{32}$ (6) $(3 + 2\sqrt{3})(3 - 2\sqrt{3})$

2 次の問いに答えなさい。

(1) 等式 $3x - 4y = 12$ を y について解きなさい。

(2) 二次方程式 $x^2 + 3x - 28 = 0$ を解きなさい。

(3) 次のア～エのうち、 $a + 2b$ という式で表されるものをすべて選び、記号を書きなさい。

ア a km の道のりを時速 2 km で b 時間 進んだときの残りの道のり (km)

イ 重さが a g の箱に 1 個の重さが b g の和菓子を 2 個入れたときの全体の重さ (g)

ウ 1 本 a 円のクレヨン 2 本の代金と 1 冊 b 円のスケッチブック 1 冊の代金との合計 (円)

エ 底辺の長さが a cm、残りの 2 辺の長さがともに b cm である二等辺三角形の周りの長さ (cm)

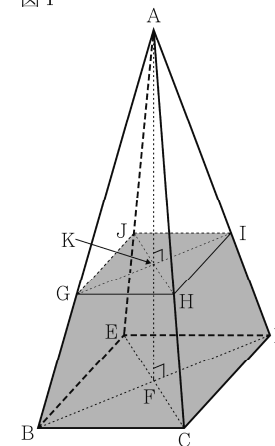
(4) 二つの箱 A, B があり、箱 A には奇数の書いてある 4 枚のカード $\boxed{1}$, $\boxed{3}$, $\boxed{5}$, $\boxed{7}$ が入っており、箱 B には偶数の書いてある 4 枚のカード $\boxed{2}$, $\boxed{4}$, $\boxed{6}$, $\boxed{8}$ が入っている。A, B それぞれの箱から同時に 1 枚のカードを取り出すとき、箱 A から取り出したカードに書いてある数と箱 B から取り出したカードに書いてある数の積が 25 より大きくなる確率はいくらですか。A, B それぞれの箱において、どのカードが取り出されることも同様に確からしいものとして答えなさい。

(5) サトシさんは、右の写真のような容器の形が四角すいの一部であることに興味をもち、その体積を求めるため、図 I のような模式図をかいて考えてみた。

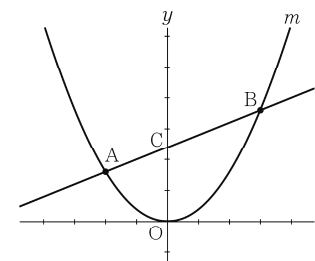


図 I において、立体 A-BCDE は正四角すいである。底面 BCDE は 1 辺の長さが 9 cm の正方形であり、 $AB = 27$ cm である。F は、正方形 BCDE の対角線の交点である。このとき、直線 AF は底面 BCDE と垂直である。G は辺 AB 上の点であり、 $AG = 18$ cm である。H, I, J はそれぞれ辺 AC, AD, AE 上にあって、 $AH = AI = AJ = AG$ となる点である。このとき、4 点 G, H, I, J は同じ平面上にあり、この 4 点を結んでできる四角形 GHIJ は正方形である。平面 GHIJ と平面 BCDE は平行である。K は、平面 GHIJ と直線 AF との交点である。このとき、K は正方形 GHIJ の対角線の交点であり、直線 AK と平面 GHIJ は垂直である。立体 GHIJ-BCDE の体積を求めなさい。答えが根号をふくむ形になる場合は、その形のままでよい。

図 I



(6) 右図において、 m は $y = ax^2$ (a は正の定数) のグラフを表す。A, B は m 上の点であって、A, B の x 座標はそれぞれ -2 , 3 である。 l は、2 点 A, B を通る直線である。C は、 l と y 軸との交点である。



① C の y 座標を a を用いて表しなさい。

② O と A, O と B とをそれぞれ結んでできる $\triangle AOB$ の面積が 6 cm^2 であるときの直線 l の式を求めなさい。求め方も書くこと。ただし、座標軸の 1 目もりの長さは 1 cm であるとする。

3 図 I において、線分 AB の長さは 30 m であり、P、Q は線分 AB 上を移動する点である。P は、A を出発し B に向かって毎秒 1.0 m の速さで移動し、B に到着後ただちに A に向かって毎秒 3.0 m の速さで移動し、A に到着後移動を終える。Q は、B を出発し A に向かって毎秒 a m の速さで移動し、A に到着後移動を終える。2 点 P、Q はそれぞれ A、B を同時に出発する。

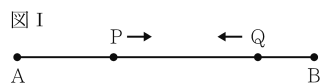
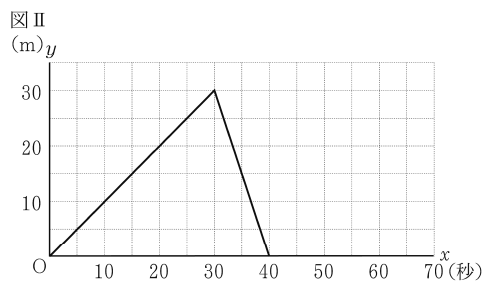


図 II は、P が A を出発してから x 秒後の線分 AP の長さを y m とし、 $0 \leq x \leq 40$ のときの x と y との関係を表すグラフに表したものである。



a を正の定数として、次の問いに答えなさい。

(1) $a = 0.5$ の場合を考える。

① 次の表は、Q が B を出発してから x 秒後の線分 AQ の長さを y m とし、 x と y との関係を示した表の一部である。表中の(ア)、(イ)に当てはまる数をそれぞれ書きなさい。

x	0	...	6	...	18	...	(イ)	...
y	30	...	27	...	(ア)	...	13	...

② Q が B を出発してから x 秒後の線分 AQ の長さを y m とし、 $0 \leq x \leq 60$ のときの x と y との関係を表すグラフを解答欄の図 II 中にかき加えなさい。

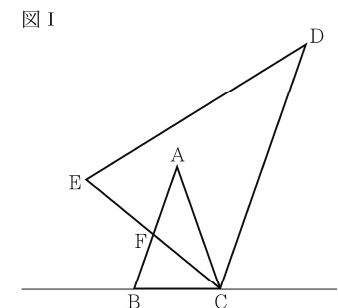
③ P が A を出発してから x 秒後の線分 AP の長さを s m、Q が B を出発してから x 秒後の線分 AQ の長さを t m とする。 $0 \leq x \leq 40$ として、 $s = t$ となるとき x の値をすべて求めなさい。

(2) Q が P と同時に A に到着するとき a の値を求めなさい。

4 図 I、図 II において、 $\triangle ABC$ は $AB = AC = 3$ cm、 $BC = 2$ cm の二等辺三角形であり、 ℓ は B、C を通る直線である。 $\triangle DEC$ は $DE = DC$ 、 $EC = 4$ cm の二等辺三角形であり、 $\angle DCE = \angle ACB$ である。D は、直線 ℓ について A と同じ側にある。辺 AB と辺 EC は、A、B と異なる点で交わっている。

次の問いに答えなさい。答えが根号をふくむ形になる場合は、その形のままでよい。

(1) 図 I において、F は、辺 AB と辺 EC との交点である。線分 AF の長さを x cm とし、 $0 < x < 3$ とする。



① 線分 FB の長さを x を用いて表しなさい。

② $FC = 2$ cm であるときの x の値を求めなさい。

(2) 図 II は、 $DC \perp \ell$ であるときの状態を示している。

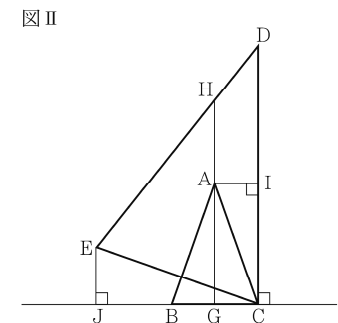


図 II において、G は辺 BC の中点であり、H は直線 AG と辺 DE との交点である。I は、A から辺 DC にひいた垂線と辺 DC との交点である。このとき、四角形 AGCI は長方形である。J は、E から ℓ にひいた垂線と ℓ との交点である。

① $\triangle EJC \sim \triangle AIC$ であることを証明しなさい。

② 線分 JC の長さを求めなさい。求め方も書くこと。必要に応じて解答欄の図を用いてもよい。

③ 線分 HA の長さを求めなさい。